

金崎古墳群 (埼玉県秩父郡皆野町金崎 所在)

1~3号墳は金崎大塚、天神塚古墳(4号墳)は金崎岩下に所在する/4号墳は氷雨塚古墳とも呼ばれている/いずれも円墳





埼玉県指定史跡 金崎古墳群

昭和51年3月30日 指定

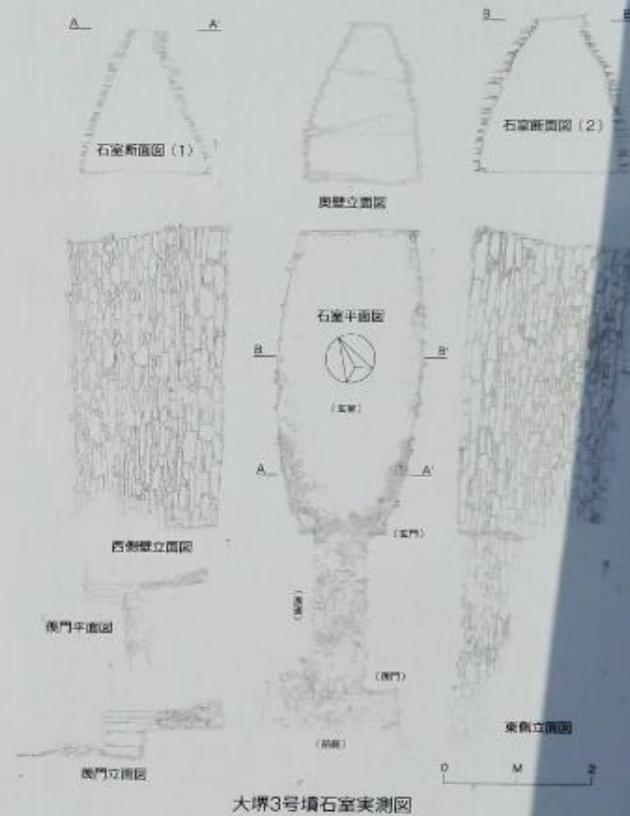
金崎古墳群は、荒川左岸の河岸段丘上にある群集墳で、かつては8基以上の円墳があったといわれている。しかし、現在、墳丘や主体部が保存されているのは、字大塚にある大塚1号墳・2号墳・3号墳と字岩下にある天神塚古墳の4基である。

これらの古墳は、いずれも墳丘の形がくずれており、大塚1号墳を除いて石室が開口している。開口している3基は、いずれも横穴式石室で、秩父地方に特徴的な長瀬系変成岩の板岩や割石を使用し、たくみな技術で積み上げられており、古代における技術水準の高さをうかがうことができる。石室の平面形は、大塚2号墳・3号墳は胴張形、天神塚古墳は短冊形である。

天神塚古墳からは、円筒埴輪の破片、大塚3号墳からは、土師器や須恵器が発見されている。これらの遺物と石室の形態から、天神塚古墳が6世紀後半、大塚3号墳が7世紀初頭の築造と考えられる。

・平成19年度 金崎古墳大塚3号墳緊急保存対策工事実施

平成20年3月31日



大塚3号墳石室実測図

埼玉県教育委員会 皆野町教育委員会

大塚1号墳







ここはまだ未調査とのこと





葺き石に使われた小石がごろごろしている









正面は1号墳から見た3号墳



大塚3号墳



墳頂に説明板が見える











7世紀初頭の築造と考えられるとのこと





境頂の祠



右下は石室への入口



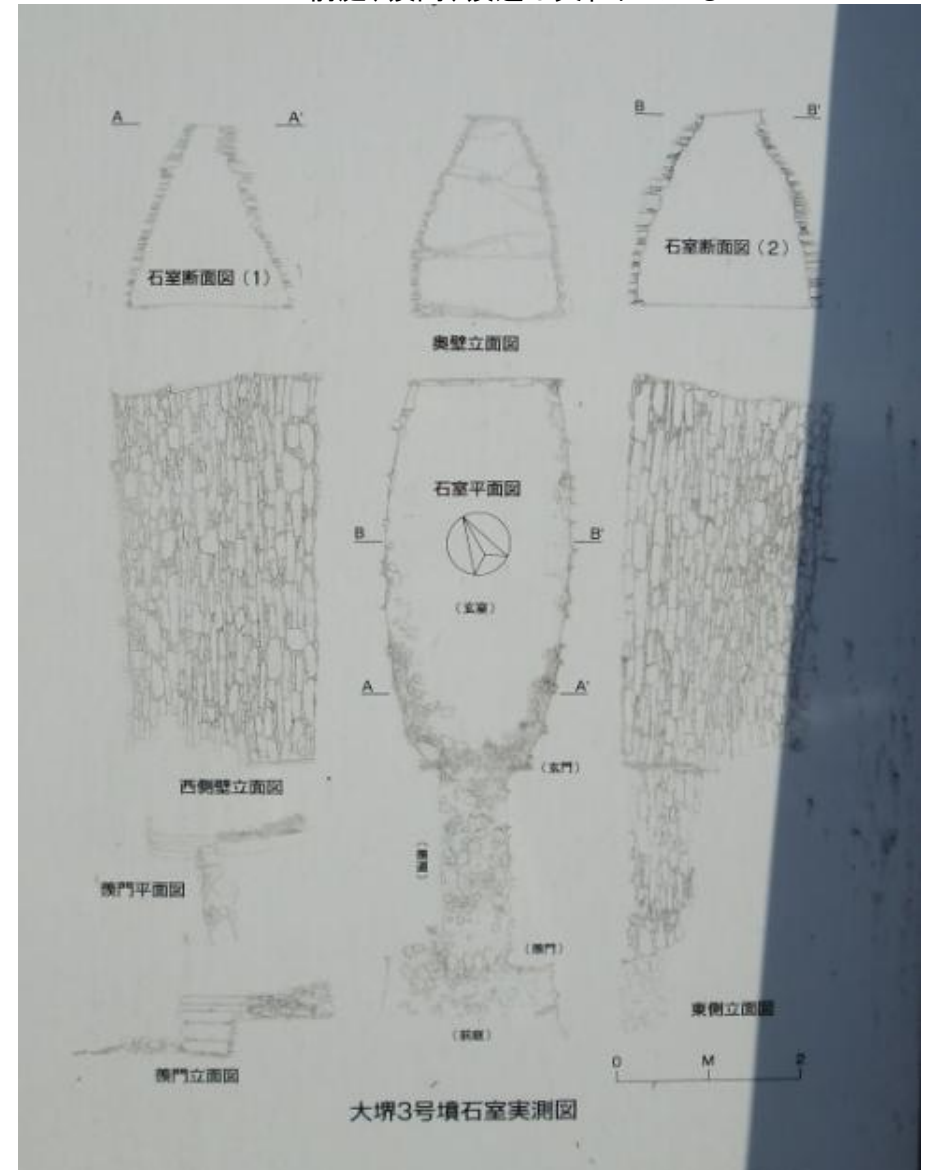
ここを下りていく



横穴式石室の玄門口



前庭、羨門、羨道は失われている



■旧状の写真（天井石崩落前）



玄門口の崩落により、平成19年度埼玉県補助事業により緊急保存対策工事を実施しました。

古墳上側の天井石は工事の際に移動したものです。

（2004.2.16撮影）

立ち入り禁止であるが、玄室内部を覗いてみる



正面が奥壁/胴張形の石室(渡来系と言われる)/長瀬系変成岩(緑泥片岩)で緑がかっている



上部は天井石



床は礫敷き

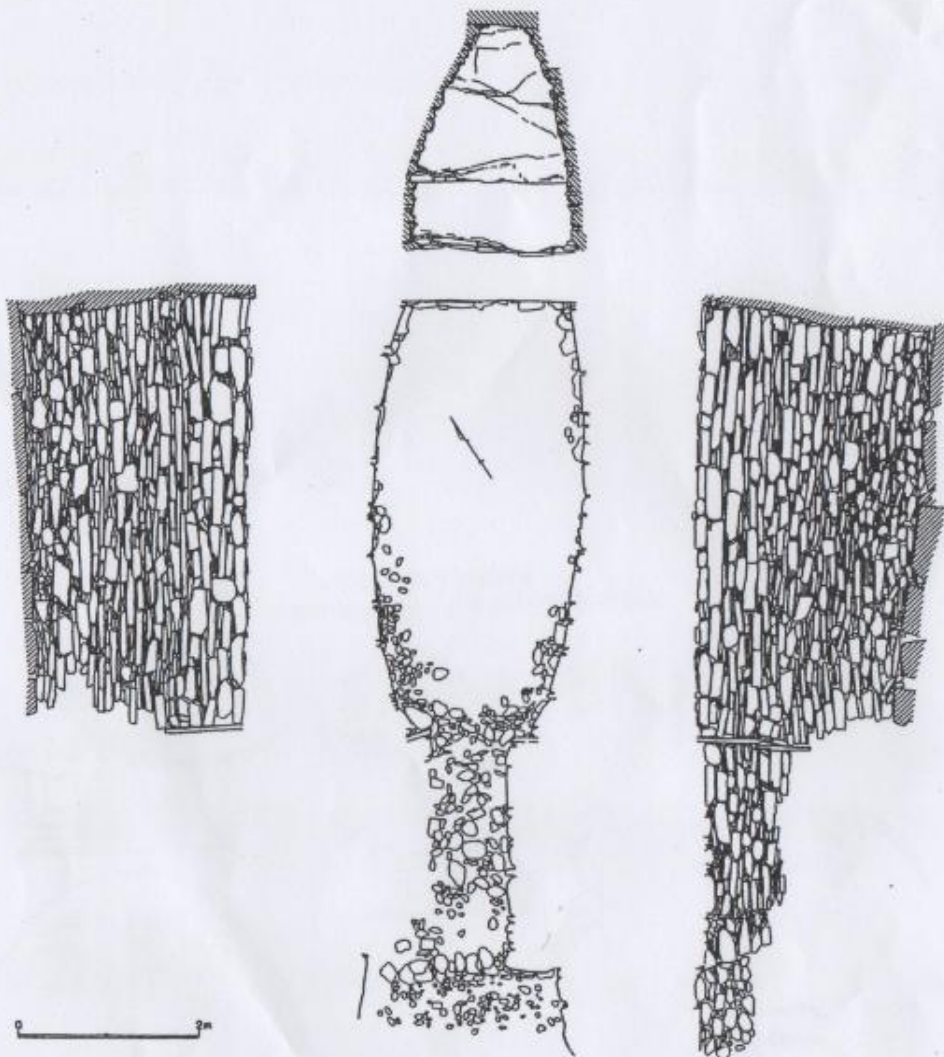


左側壁

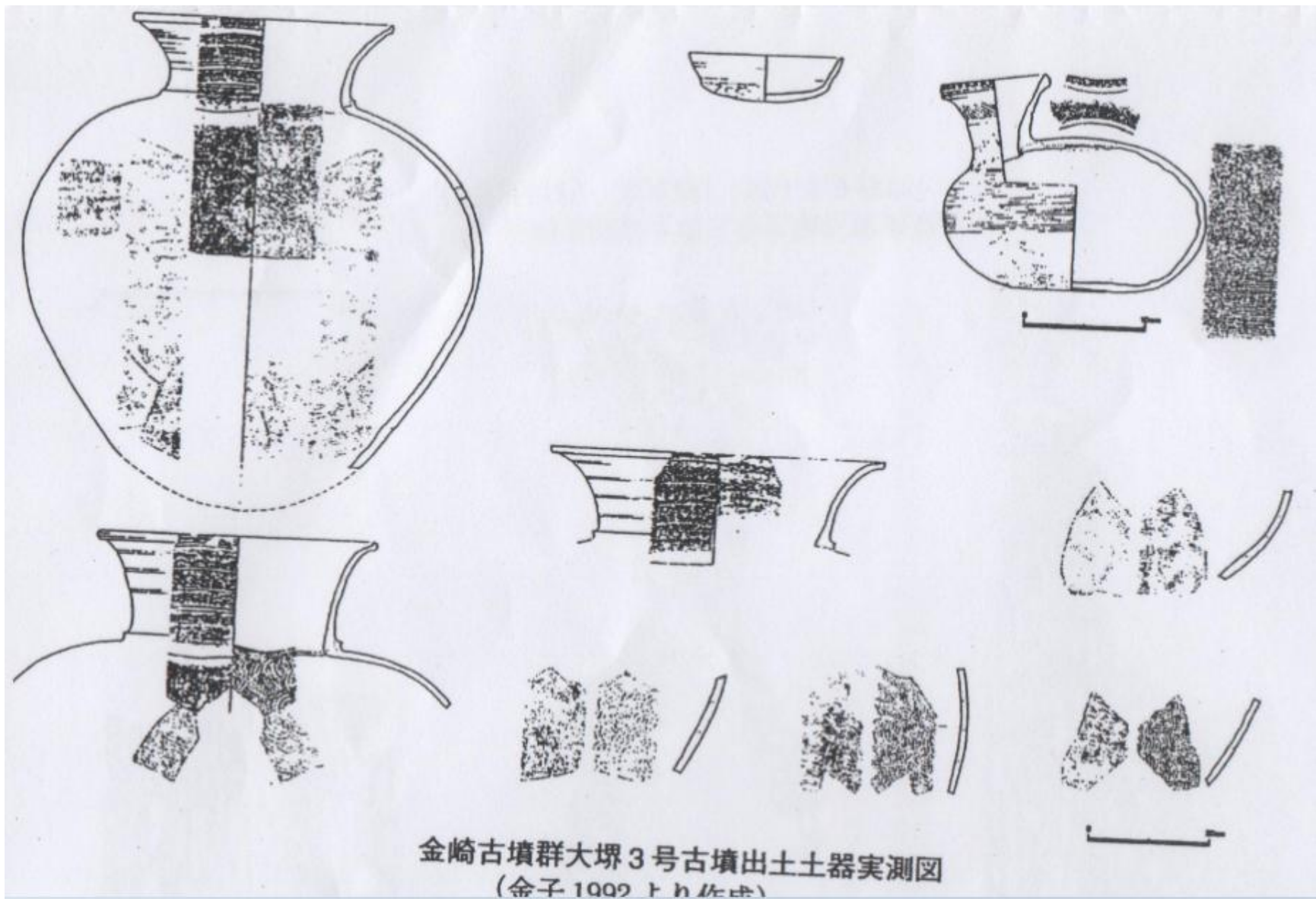


右側壁





金崎古墳群大塚3号古墳石室実測図
(「皆野町誌 通史編」1988より作成)



金崎古墳群大塚3号古墳出土土器実測図
 (金子1992より作成)

3号墳から見た1号墳



大塚2号墳







玄室のみ現存



3号墳と同様の胴張のある横穴式石室となっている



上部は天井石





巧みな小口積み/左側壁



巧みな小口積み/右側壁







墳頂に何かある





破壊された部分の石を祠がわりにしているのか



葺き石の名残り



天神塚古墳へ移動中に見つけた岩肌



金崎神社の鳥居



社殿







手前は調査隊の二号車







神社の裏手に4号墳(天神塚古墳)がある











ここも葺き石の小石が散在する





裏手に廻ってみる



正面に石室の入口がある



開放されている



6世紀後半の築造と言われる



玄室内部

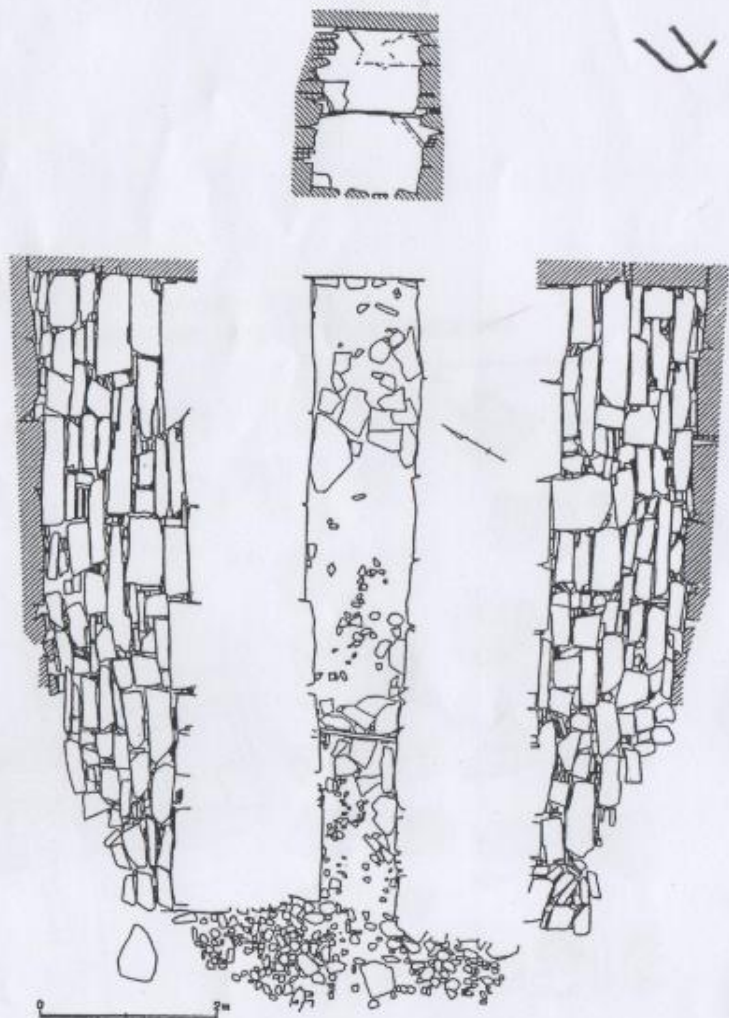


この石室は短冊形の横穴式石室と言われる

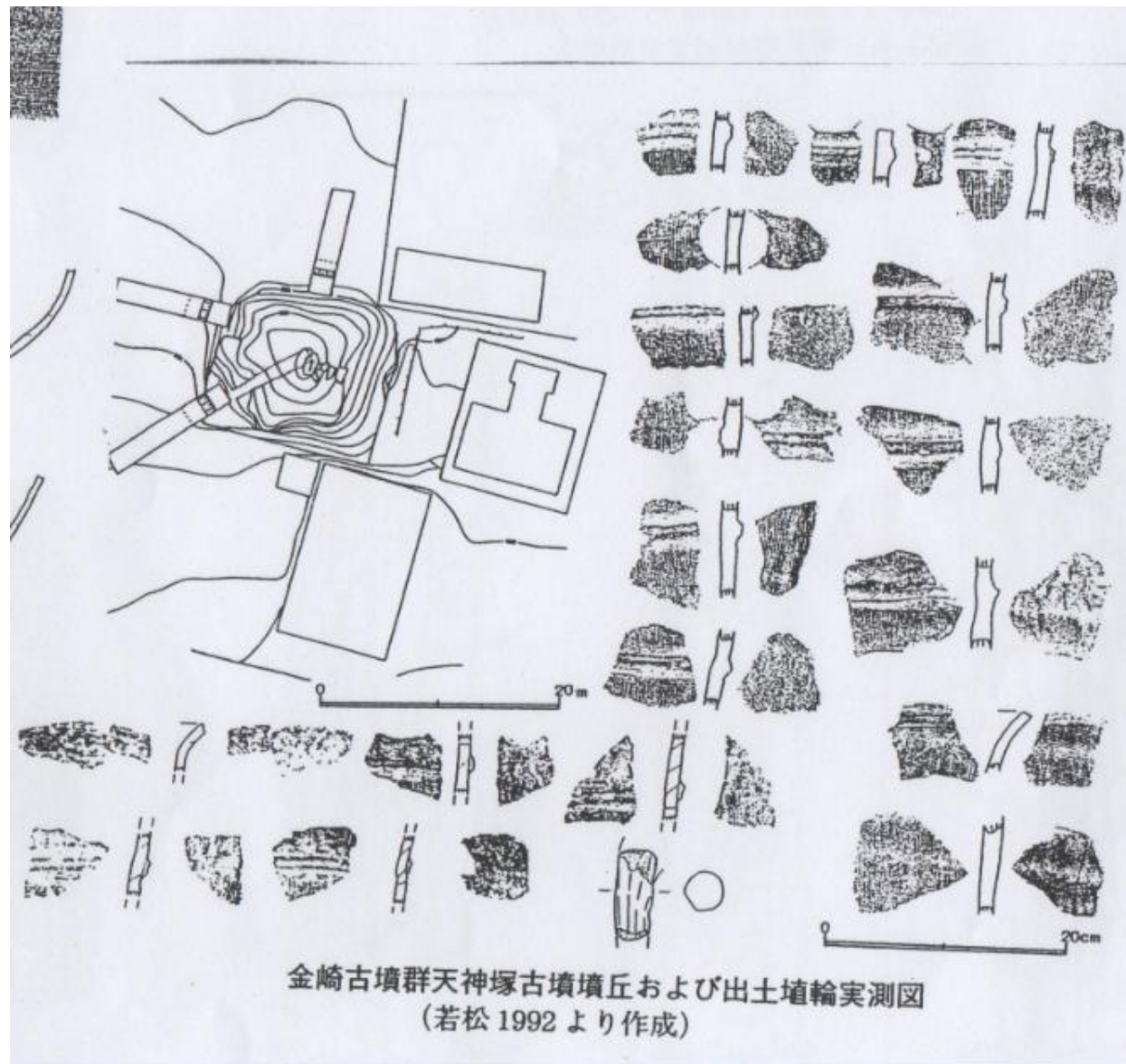


前面は奥壁





金崎古墳群天神塚古墳石室実測図
〔皆野町誌 通史編〕1988より作成)



すぐ隣の長興寺



さまざまな石造供養碑



天神塚古墳が見える















こんな石造五重塔があった





参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/minano/oo1.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/minano/oo2.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/minano/oo3.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/minano/tenzin.html>

